

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシー F 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	高沢敦博			実務 経験	有	職種	映像制作				
担当教員紹介											
放送業界で製作業務に従事していた マスコミ業界でマネージャー業務に従事していた											
授業概要											
既存の映像作品を通して、そこに使われる撮影技術を解析して今後の作品制作に応用する。また同時に企画・脚本・演出・演技についても解説を行い、今後の作品制作に生かしていく。											
到達目標											
以下、二つを習得する 1. クリエイターとしての眼を養い、鑑賞者から脱皮する 2. 常に画面外のカメラ位置、照明を考える											
授業方法											
オンデマンド型オンライン授業 毎回主に映画を 1 作品題材として扱う。 ＜事前編＞と＜解説編＞として 2 つの解説映像も併せて送信する。 その後、アンケートレポートを提出。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	期末に別途レポート課題									
平常点	50%	期日までのアンケートレポート提出とその内容									
履修上の注意											
必ず指定期日までに視聴し、アンケートレポートを提出すること すぐにwikipediaなどに頼らず、自分で考えること											
教科書教材											
必要な場合、授業にて資料配布											
回数	授業計画										
第1回	「キャッチミーイフユーキャン」 スピルバーグ監督の技術を分析、解説										
第2回	「9 日目」 ドイツ人監督による第二次世界大戦中の独軍を描いた作品。シュレンドルフ監督の製作背景を解説。										
第3回	「イングロリアスバスターズ」 クエンティン・タランティーノ 監督の技とエンタテインメント性を考察、解説。										
第4回	「きみに読む物語」 カサヴェテス監督の技術を解説。										
第5回	「ロストボディ」 スペイン映画の巨匠オリオル・パウロ監督の技術と特性を解説。										

2022年度 日本工学院専門学校	
放送芸術科	
映像リテラシー F 1	
第6回	「少女は自転車に乗って」サウジアラビア映画。そしてイスラム教の女性監督というとても特殊な映画の解説。
第7回	「ジャージーボーイズ」名匠クリント・イーストウッド監督による実話ベースの音楽映画。映画とのスタンスを解説。
第8回	「ディアハンター」ベトナム戦争を扱った、伝説的なアメリカンニューシネマのひとつ。時代性を解説。
第9回	「幸せなひとりぼっち」スウェーデン映画。北欧独特な形式を解説。
第10回	「東ベルリンから来た女」旧東ドイツを描いた作品の時代性と背景を解説。
第11回	「テルマ&ルイズ」巨匠リドリー・スコット監督によるロードムービーを解説。
第12回	「存在の耐えられない軽さ」チェコ映画。プラハの春当時の市民を描いた映画を解説。
第13回	「瞳の奥の秘密」アルゼンチン映画。アカデミー外国語作品賞の今作の技術を解説。
第14回	「シティ・オブ・ゴッド」ブラジル映画の特殊性を解説。
第15回	試験レポート